

I T人材WGにおける検討状況について  
～情報経済小委員会への報告事項骨子（案）～

平成27年4月6日時点

<第1回WG>

第1回WGにおいては、I T人材を巡る状況として

- 情報システム産業におけるビジネス（収益）モデルの変化
- 新たなビジネスの浸透～インターネット付随サービス業の急成長～
- もの作り産業における組込みソフトウェアの役割増大
- ユーザ企業における「攻めのI T活用」の重要性増大
- 情報セキュリティ対策の必要性の増大
- 若年層・若手技術者人材育成の課題
- 2015年問題をはじめとしたI T人材不足を踏まえて、

I T人材WGでは、

- 2020年時点におけるI T人材の確保方策
- 今後のIoT時代に必要とされるI T人材の確保・育成の方向性について議論を行い、取りまとめることとした（参考1）。

<第2回WG>

第2回WGにおいては、第1回WG及び第3回情報経済小委員会の議論を受けて、今後必要とされるI T人材をユーザ産業、従来型I T産業、I Tベンチャーといった類型毎に明確化（参考2）し、その明確化されたI T人材毎に必要とされる対応について議論することとした。

さらに、必要とされる具体的な対応として

- 外国人I T人材の積極的な活用
- ユーザ企業を含めたI T業界の多重下請け構造の是正
- セキュリティ人材の育成

等について議論を行い、2020年に向けた外国人I T人材の活用促進策の方向性、下請けガイドラインの改正等を通じた多重下請け構造の改善のための取り組みの方向性、セキュリティ人材の育成のためのセキュリティマネジメント試験の創設の重要性等が示された。

### <第3回WG>

- IoT 時代におけるユーザ企業経営層向けのビジネス創出に資する教育
- 大学の視点からの IoT 時代の IT 人材育成
- 組込みソフトウェアベンチャーに求められる IT 人材像等について、議論を行い、・・・・・・・・・・（本日（4月6日）の議論をまとめる）。

### <第4回WG以降>

- 最新のプロジェクト管理手法等の再教育
- コーディング技術者に対する新技術等の再教育
- IoT に係るオープンイノベーションの基盤整備
- IoT 時代における新たなビジネスモデルの構築に向けた環境整備
- IT ベンチャー人材の確保・育成策（スタートアップアクセレレータの育成等）
- 次代を担う IoT 人材育成のための若年層への教育機会の提供等について議論を行い、それぞれの方向性を示す。さらに、WG 全体の議論をまとめて、今後必要とされる IT 人材像を明確化するとともに、当該人材像を踏まえて、情報処理技術者試験の見直し等を含めた横断的な対応の方向性をとりまとめる。

以上